

# やまなしの福祉

1 No.345  
2019  
月号



特集

## 第66回 山梨県 社会福祉 大会レポート

第66回山梨県社会福祉大会



写真：大会第一部 大会式典の様子

- P5 赤い羽根共同募金街頭活動報告
- P5 ラグビートップリーグボランティア体験
- P6 いきいき山梨ねんりんピック
- P7 全国健康福祉祭 とやま大会
- P8 日常生活自立支援事業について

- P8 地域共生セミナー開催報告
- P9 介護支援専門員実務研修受講試験結果
- P9 『介護の資格届出制度』について
- P11 介護職員対象研修報告
- P10 ボランティアセンターの紹介

# 第66回山梨県社会福祉大会

11月28日(水)、甲府市のコラニー文化ホールで「第66回山梨県社会福祉大会」を開催しました。今年は、各市町村の社会福祉協議会、民生委員・児童委員の方々をはじめ、県内の社会福祉関係者など約1,000名が参加。第1部では、表彰や感謝状の贈呈、第2部では、子どもとの関わりを通じたまちづくりをテーマとした記念講演を行いました。



## 第1部 大会式典



第1部の式典では、これまで本県の社会福祉の発展に功績のあった132名、52団体に表彰・感謝状を贈呈。受賞者を代表して、民生委員・児童委員として山梨県知事表彰を受賞した矢崎和子さんが「地域のために少しでも役に立てればとの思いでこれまで活動してきた。これからも地域福祉の向上に努力していきたい。」と謝辞を述べられ、会場から大きな拍手が送られました。

山梨県社協会長表彰・感謝状の贈呈者数は次のとおりです。

	表彰区分	表彰者・団体数
<b>表彰状</b> 個人：72名 団体：15団体 (計87)	民生委員児童委員	1名
	民間社会福祉施設役職員	25名
	民間社会福祉団体役職員	23名
	優良社会福祉協議会	1社協
	ボランティア活動(個人)	23名
	ボランティア活動(団体)	14団体
<b>感謝状</b> 個人：6名 団体：15団体 (計21)	公立社会福祉施設職員	4名
	金品寄付・労力提供(個人)	2名
	金品寄付・労力提供(団体)	12団体
	特別感謝状	3団体



なお、山梨県知事表彰は51名・17団体、感謝状は1名が受賞され、中央共同募金会長感謝楯・感謝状は2名・5団体に伝達が行われました。

## 第2部 記念講演

# 子どもも、大人も、 互いの声を聞き合う地域社会へ

第2部では、『子どもからつながる地域づくり～住民参加の地域づくり～』というテーマで、NPO法人ハンズオン埼玉・西川正(にしかわただし)さんの記念講演を行いました。西川さんはこれまでに民生委員・児童委員を務め、学童指導員、出版社、障害者団体のスタッフ、NPO支援センター事務局長などを経て、2005年にNPOハンズオン埼玉を設立。父親の子育てを支援する『おとうさんのヤキイモタイム』をはじめ、住民参加型のまちづくりをプロデュースしています。

### → 演 題 ←

## 「子どもからつながる地域づくり」 ～ 住民参加型のまちづくり ～



特定非営利活動法人ハンズオン埼玉  
にしかわただし  
常務理事 西川 正 さん

1967年滋賀県生まれ。元民生委員・児童委員。学芸指導員、出版社、障害者団体スタッフ、NPO支援センター事務局長などを経て、2005年、特定非営利活動法人ハンズオン埼玉を設立。現在、大妻女子大学、埼玉大学、武蔵大学等で非常勤講師。特定非営利活動法人あげお学童クラブの会副代表理事、特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会理事、日本コミュニティ七輪学会会長を務める。主な著書に『あそびの生まれる場所「お客様時代」の公共マネジメント』など。

## 繋がり合える地域社会へ

近年、家庭環境の変化や地域とのつながりの希薄化などにより、「ひとり親家庭の孤立」や「子どもの貧困」、「ひきこもり」といった“子ども”を取り巻く福祉課題が社会問題となっています。これらを背景に、子どもの育ちを地域で支える「住民参加型のまちづくり」があるべき姿として示されるようになりました。県内でも、地域ぐるみによる子どもの見守り活動や学習支援、また子育て支援サロンや子ども食堂の運営など、様々な取り組みが展開されつつあります。

講演では、西川さんが取り組んでいる子どもを通じた地域づくりについて紹介していただきました。その中の一つが『おとうさんのヤキイモタイム』。これは日頃仕事などで忙しく、地域での人間関係がつくりにくいお父さんが中心になって、住民みんなでヤキイモを楽しむ活動。西川さんはこの活動の狙いを、「火だ!煙だ!と騒いでギスギスしないで、ご近所同士みんな楽しく過ごす。そのことで地域住民が少しずつ会話し、つながりが生まれていく」と語ってくれました。

そのほか、中学生と大人が250人ずつ500人が向かい合わせに座って1分間交互に喋る『大人としゃべり場』や、母親と赤ちゃんが中学校を訪れて交流する『赤ちゃん訪問』など、子どもと大人が楽しく語りあう活動は、世代を超えた関わり合いのきっかけになっています。

西川さんは、「人はとにかく話を聞いてもらえたら元気になる。“互いの声を聞き合うこと”が大切」と話してくれました。



## 互いの声を聞くこと

地域の中で互いの声を聞き合うことは、子どもの健やかな成長にも欠かせない要素です。親と子の幼少期の触れ合いや、思春期の子どもに対する親の向き合い方等においても、地域のつながりが大きな支えとなります。例えば、保護者に病気や怪我など万が一のことがあった時に地域ぐるみで子どもに目を配ったり、悩みを抱えた子どもに声をかけるなど、地域社会の中に“人と人とのつながり”があれば支え合うことができると、西川さんは話します。



高齢化、核家族化など、人と人との繋がりが薄れつつある現代、子どもたちもまた孤立しがちになります。そういった課題を家族や個人の問題とせず、社会全体で考えていくことが重要です。西川さんは、自分たちの住む地域で、住民同士が共に考え、協力し合い、より良い地域づくりを目指すために必要なことが“互いの声を聞くこと”であると強調されました。

西川さんは「大人と子どもが交流する架け橋となり、子どもたちの将来に役立つ地域づくりをしていきたい。そのために、住民が互いの声を聞き合い、地域の人々がつながっていくきっかけをつくっていきたい」と自らの活動の抱負を語ってくれました。

## 講演を終えて

今回の講演では、「子どもたちの健やかな育ちを考えたときに、子どもたちを取り巻く生活環境は大変重要な要素である。『ひとり親家庭の孤立』や『子どもの貧困』問題などは、その世帯だけの問題ではなく地域全体で考え、解決していく仕組みが必要である」ことを学びました。

山梨県でも、子どもの貧困対策として、支援機関同士をつなぐ「地域コーディネーター」を養成し、地域全体で子どもを支え、育む仕組みづくりが進められています。地域の課題を他人ごととしない、我が事・丸ごとの地域共生社会の実現に向けた取り組みがいま求められています。

今回の西川さんの講演は、それぞれの立場で地域福祉に携わっている参加者にとっては、今後の地域福祉活動を実践していく上でのひとつのヒントになったと思います。

# 赤い羽根共同募金運動街頭活動

## 募金のご協力ありがとうございました！



10月2・3・6日の3日間、山梨県社会福祉協議会は、「赤い羽根共同募金運動街頭活動」を行いました。

期間中延べ39団体・159名の方々にご協力をいただき、**172,082円**の募金が集まりました。

ご協力いただきました募金は、山梨県共同募金会に届けました。皆様の温かいお気持ちありがとうございました。

# ジャパンラグビートップリーグ山梨大会で ボランティア体験を行いました！

10月7日(日)にジャパンラグビートップリーグ山梨大会が小瀬スポーツ公園・中銀スタジアムで開催され、山梨県ボランティア・NPOセンターでは大会の運営を支えるボランティアの募集を行い、県内の中学生や高校生、社会人など29名が集まりました。活動内容は、障害のある方への移動介助や会場設営など、様々なボランティア活動を行いました。ボランティア活動を行った参加者からは、「招待者が試合を見て喜んでいる姿が見られて良かった」、「介助をするにあたり障害のある方、周辺の方などの状況に気を配ることができた」との感想が寄せられ、充実した活動となりました。



招待者観覧席の設置作業



車いすの方の入場口への誘導や移動時の介助



試合終了後の清掃活動

# いきいき山梨 ねんりんピック2018

明るく元気に楽しく  
世代を超えた交流の機会



オープニングセレモニー



囲碁



ミニコンサート



体験コーナー



ニュースポーツ  
チャレンジコーナー



出展ブース



武術太極拳



ミニコンサート

9月29日(土)に「いきいき山梨ねんりんピック2018」を開催しました。

この大会は高齢者から子どもまで、世代間交流を深めることを目的に、甲府市・小瀬スポーツ公園をメイン会場に、毎年開催しています。

当日は、雨の中での開催となりましたが、ジョギングやソフトテニスなどのスポーツ交流大会や、囲碁や将棋などの文化交流大会が行われました。

また、「三世代交流」をテーマに、凧づくり、絵手紙、切り絵、押し花などの子どもたちと一緒に参加できる体験コーナーや、高齢者の皆さんが教えてくれる昔懐かしい遊びのコーナー、ことぶきマスターによるミニコンサート、その他さまざまなイベントを通じて世代を超えた交流を深め、高齢者から子どもまでいきいきと、楽しい一日を過ごしました。



大会マスコット  
きときと君

# 第31回 全国健康福祉祭 とやま大会



山梨県選手団入場行進

## ～ 夢つなぐ 長寿のかがやき 富山から ～

スポーツや文化種目の交流大会を始め、健康や福祉に関する多彩なイベントを通じ、高齢者を中心とする国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚を図ることを目的に、「全国健康福祉祭とやま大会」が、11月3日(土)から6日(火)までの4日間、富山県内の各市町村を会場に開催されました。

山梨県からは芦澤敏久団長(県社会福祉協議会会長)ら141名が、19種目の競技に参加しました。

開会式当日は快晴に恵まれ、真田利美旗手(サッカー)を先頭に、風林火山の手旗を高々と掲げ、富山市立熊野小学校の児童たちと笑顔あふれる入場行進を行いました。

各競技では、県勢はペタンク大会で優勝した他、いくつかの種目で個人優勝や上位入賞、また健康長寿のあかしである高齢者賞を受賞し、日頃の練習の成果を発揮するとともに、スポーツを通じ、他県の選手との交流を深めました。また、文化交流の美術展にも本県の代表作品を出品しました。

### 山梨県勢の主な成績

優勝	ペタンク(全体 1位)	かいじ(甲府市)
優勝	ソフトバレーボール(第5ブロック優勝)	チームあーち(南アルプス市)
優勝	ゴルフ(60～64歳の部 1位)	星野 一(甲府市 61歳)
優勝	水泳(80歳以上の部 男子50m 背泳ぎ)	大堀 卓雄(甲斐市 80歳)
優勝	水泳(80歳以上の部 男子50m バタフライ)	松本 弘(中央市 82歳)
準優勝	ゲートボール(全体 2位)	大月若葉
準優勝	水泳(80歳以上の部 男子25m バタフライ)	松本 弘(中央市 82歳)
準優勝	水泳(75～79歳の部 女子25m 50m自由形)	松本 勝子(中央市 75歳)
準優勝	水泳(70～74歳の部 女子25m 50m平泳ぎ)	津金 秀子(甲府市 70歳)
第3位	ゴルフ(団体の部)	チーム山梨
第3位	水泳(混合フリーリレー-281歳以上の部)	松本・山下・松本・大堀
第3位	水泳(80歳以上の部 男子25m 背泳ぎ)	大堀 卓雄(甲斐市 80歳)
優秀賞	ソフトボール(ベスト16)	塩山シニア
優秀賞	弓道(ベスト16)	山梨県チーム
優秀賞	ウォークラリー(高齢者の部・吉峰コース 第5位)	武田楽遊
優秀賞	健康マージャン(男子シロエビブロック 5位)	村松 厚(中央市 74歳)
特別賞	弓道(男性高齢者賞)	鈴木 茂雄(大月市 87歳)
特別賞	水泳(男性高齢者賞)	鈴木 桂(甲州市 87歳)



ペタンク優勝のかいじチーム



ゲートボール準優勝の大月若葉チーム

# 地域で安心して生活する為に ～日常生活自立支援事業～

本事業は、認知症高齢者や知的障害者、精神障害者などのうち、判断能力が不十分な方に対して福祉サービスを利用するための援助や金銭管理のお手伝いなどを行うことにより、利用者が地域で安心して自立した生活を送ることを目的としています。

※判断能力を欠いているため契約ができない方は、成年後見制度の利用対象となります。

## 1 援助内容について

### ① 日常生活支援サービス

- 福祉サービスの利用支援  
(制度の説明、手続きの援助、申し込み同行)
- 日常生活に必要な事務手続き援助  
(住民票の届出等行政手続き、賃借・消費契約)
- 定期的な訪問、相談

### ② 日常的な金銭管理サービス

- 一定額の預貯金の出し入れ、福祉サービス利用料金・公共料金等の支払い
- 日用品の代金の支払い、治療費の支払い
- 通帳・印鑑の保管、権利書・年金証書などの書類の保管

## 2 利用料等について

福祉サービス利用 援助・日常的な金銭 管理サービス	1時間以内 1,000円 1時間を超えた場合 15分ごとに250円を加算
援助に対する 交通費	1km当たり 20円 ※1km未満は切り捨て
書類等預かり サービス (保管料)	月額 300円 金融機関の貸金庫を 利用して保管する場合は、 実費相当分を追加する。

※生活保護世帯は無料です。

## 3 事業を利用するには お住まいの地域の社会福祉協議会に気軽にご相談下さい(相談は無料)。

専門員が利用者本人と面談・調査等を行い、本人の希望と状況に応じた支援計画を作成します。援助を行うことが合意されれば、利用契約を結びます。契約は原則的に利用者ご本人と社会福祉協議会が行います。

利用者本人の契約能力の確認が難しい場合は、本会に設置されている「契約締結審査会」で審査します。



# 生活困窮者自立支援事業「地域共生セミナー」を開催

本会は、生活困窮者を早期に把握し、早期に支援ができる地域づくりを行うため、生活困窮者自立支援制度の理解を深め、地域でできることは何かを考える「地域共生セミナー」を開催しました。

昨年9月、富士吉田市民会館と富士川町民会館の2ヵ所で開催したセミナーには、町村行政・社協職員をはじめ、民生委員児童委員、ケアマネジャーなど福祉・介護だけでなく、医療関係者の参加もありました。

セミナーは、県福祉保健部福祉保健総務課による制度説明、ワールドカフェ方式※による事例検討、山梨県立大学 人間福祉学部 人間コミュニティ学科 講師 高木寛之先生による「生活困窮者自立支援制度における地域の役割と地域づくり」と題した講義を行いました。

参加者からは「いろいろな人の話が聞けて良かった」「専門職の意見を聞くことができて良かった」「講義がわかりやすく、とてもよい内容だった」など、様々な立場の方々の意見や考えを聞くことにより、制度の理解とそれぞれの立場で何ができるかを考える有意義な時間となりました。

※ワールドカフェ方式…グループでの対話を行い、他のメンバーと入れ替わり対話を続け、様々な意見を共有する手法

高木寛之先生による講義の様子



事例検討の様子①



事例検討の様子②



# 介護支援専門員実務研修受講試験の結果

平成30年10月14日(日)、介護支援専門員実務研修受講試験が実施されました。本県では山梨学院大学を会場に258人が受験し、合格者は32人、合格率は約12.4%でした。これは介護支援専門員(ケアマネジャー)として登録するために必要な「実務研修」の受講者を定めるための試験で、合格者は12月～3月までの間、講義・演習(14日間)を受講し、また2種類の実習を行うこととなっています。

研修の全課程を修了し、県から介護支援専門員証の交付を受けた者が介護支援専門員として業務をすることができます。

介護支援専門員は、「介護保険法において、要支援・要介護認定者およびその家族からの相談を受け、介護サービス事業者との連絡調整等を行う者」となっています。

合格者(研修修了者)の今後の活躍を期待します。

## 山梨県の保有資格別合格者数

職 種	合格者数(人)
歯科医師	1
保健師	3
看護師	9
准看護師	1
理学療法士	2
作業療法士	3
社会福祉士	4
介護福祉士	11
相談援助業務等従事者	2
計	36

※複数の資格を有する合格者がいるため、実際の合格者数とは異なります。

# ご存知ですか? 「介護の資格届出制度」

高齢社会が進む中、介護の仕事はますます重要な仕事となっており、介護の資格、技術、経験を持つ方々は、とても貴重な存在です。

介護の仕事から一度離れても、いつでも介護の仕事で再び活躍できるように、様々なサポートが受けられる「届出制度」が創設されました。

介護福祉士等の資格をお持ちの方は、福祉人材センターに届出、登録をお願いいたします。



## 対象資格・研修

- 介護福祉士
- 介護職員初任者研修
- 介護職員実務者研修
- 旧ホームヘルパー養成研修1級・2級
- 旧介護職員基礎研修

福祉・介護に関するニュースやイベント情報をお送りする他、再就職をご希望の場合は、山梨県福祉人材センターがきめ細かく対応いたします。

登録は「福祉のお仕事」

FUKUSHI-JOB SEARCH

スマホの方は  
こちらから

**福祉のお仕事**

<http://www.fukushi-work.jp/todokede/>

LINE@  
友だち募集中。

友達登録で  
人材センター情報をGET!!

山梨県福祉人材センター

【問い合わせ先】 山梨県福祉人材センター TEL:055-254-8654

# 介護職員対象の研修を行いました!

介護実習普及センターでは今年度も介護職員の方々を対象に9つのテーマ研修を実施しました。このうち、「接遇マナー」「高齢者のためのアクティビティ」の様子をお伝えします。

## 「接遇マナー」 2018年10月25日開催

講師にNPO法人日本サービスマナー協会 上田講師にお越しいただきました。

福祉従事者としての心がまえから、接遇の基礎知識、第一印象の重要性などを講義いただき、各カリキュラムで、グループ毎にワークに取り組みながら“シチュエーション別の声掛け”等についても学びました。



### 受講者の声!



接遇に関する正しいマナーを身につけ、自分の誤りに気付くことができました。

(介護保険施設勤務、20歳代、女性)



細かい言い回しについて理解できて良かった。

(介護保険施設勤務、30歳代、女性)



## 「高齢者のためのアクティビティ」 2018年10月29日開催

講師は甲州リハビリテーショングループ勤務 作業療法士 杉田講師と、音楽療法士 前田講師にお越しいただきました。

午前中の講義では“アクティビティとは何か”について学び、“利用者さん1人1人に合ったアクティビティを提供できているか?”等について考えながら、作業の応用の仕方やバリエーションについてグループワークを行いました。午後は“音楽療法の実践”というテーマで音楽を通じたアクティビティについて体験しながら学びました。明日からすぐに現場で活かすことができる内容や今後に向けて知っておくと良い知識を共有することができました。



### 受講者の声!



アクティビティについての知識が広まり、再認識できた。

音楽療法では具体的で自分も演奏できてよかった。

(介護保険通所系サービス勤務、60歳代、男性)



その人の事を理解して個別に関わっていこうと思う。音楽を通して利用者実践できることが多くあった。

(介護保険施設ショートステイ担当、50歳代、女性)





# 身延町 ボランティアセンター

身延町ボランティアセンターでは、ボランティア活動のすそ野を広げ、講座、講演会等の開催及び地域での活動の場づくりを進めています。また、ボランティア活動を通して住民の皆様が、互いに支え合い、助け合うことの出来る地域づくりに向けて日々活動しています。

## ボランティア相談・斡旋

「ボランティアをやりたい」「こんな活動のボランティアはある?」といったお問い合わせに対し、相談・情報提供等を行っています。また、地域の福祉施設からのボランティアニーズに対し、ご協力頂けるボランティアとの橋渡しを行っています。

## 地域ボランティア活動の推進

町内には長年ボランティア活動を行っている団体・個人が複数います。活動に対して様々な面でご支援するとともに、地域のボランティア団体と共催でボランティアのつどい(年1回)を開催しています。



ボランティア活動を通して地域の皆様と交流中



設置運営訓練の様子

## 災害ボランティアセンターの設置運営訓練

毎年災害ボランティアセンターの設置運営訓練を実施しています。また、町民及び町内の会社等に勤務している本町に関わりの深い方で災害ボランティア活動への熱意とご理解のある方に、ボランティア登録をお願いして訓練活動等にご協力頂いております。

## フードバンク・収集ボランティア活動の協力

認定NPO法人フードバンク山梨の活動に賛同し、年3回、フードドライブ活動拠点として食品・寄付金の受付窓口、活動の紹介・周知などの役割を担っています。その他、エコキャップや古切手など各家庭や施設、学校等で収集していただいたものを県内施設や業者へ配送するなどの活動も行っています。

## 身延町社会福祉協議会

業務時間：月～金曜日 8:30～17:15

住所：南巨摩郡身延町波木井272-1(身延福祉センター内)

TEL：0556-62-3773

<http://www.minobushakyo.jp/>

FAX：0556-62-3777

この広報紙の作成費用の一部は赤い羽根共同募金配分金により発行されています。



## 善意をありがとう

### 文書ファイルのご寄贈

パイオニア・マイクロ・テクノロジー株式会社(寺田勝彦代表取締役社長)様より、環境活動の一環として、リユースの文書ファイルを100冊寄贈いただきました。



ボランティアNPO団体の活動のために活用させていただきます。ありがとうございました。

### 車椅子用体重計と福祉巡回車のご寄贈

生命保険協会山梨県協会(小野敦司会長)様より、車椅子用体重計1台を、社会福祉法人くにも会くにも園へ、福祉巡回車を山梨市社会福祉協議会と上野原市社会福祉協議会へ1台づつ計2台を寄贈いただきました。生命保険協会山梨県協会様は、CR(コミュニティ・リレイションズ)活動として平成4年より各会員にて「ふれあい募金」を実施し、集められた浄財を原資にして車椅子用体重計と福祉巡回車を寄贈いただいています。



車椅子用体重計の寄贈は今年で6年連続6台目、福祉巡回車は今年で27年連続で48台となりました。ありがとうございました。

**関自共の自動車共済**

団体割引 10%  
福祉施設割引 10%

\*団体割引は共済契約者、被共済者が当組合の規定を満たす場合のみで、台数規模と損害率により決定し、毎年見直されます。

関東自動車共済協同組合 山梨県支部 甲府市飯田4-4-2 TEL 055-237-8331 FAX 055-237-8332

### 障害者差別地域相談窓口をご利用ください

山梨県では、障がいがある人が、障がいを理由として、正当な理由なく、サービスの提供を拒否されたり、制限されたり、不当な差別的扱いを受けた場合に相談を受ける窓口として、各市町村に障害者差別地域相談員を配置しています。相談員のお名前・連絡先は山梨県ホームページに掲載されています。

詳しくは、県障害福祉課、またはお住まいの市町村障害者福祉担当課へお問い合わせください。

お問合せ先 山梨県障害福祉課 ☎055-223-1362(直)

### 地域別小規模就職相談会を開催します

地域を限定して仕事を探したいあなたを応援します。参加費、事前申し込みは不要です。

対象エリア 1月24日(木) 峡南・南アルプス市  
2月21日(木) 峡中 ※南アルプス市を除く  
13:30~15:30

会場 山梨県福祉プラザ 4階会議室  
(甲府市北新1-2-12)

※参加事業所は、各開催日1週間前より山梨県社会福祉協議会ホームページに掲載します。  
※詳細についてはお問い合わせください。

お問合せ先 福祉人材センター ☎055-254-8654



### 読者アンケートのお願い

今後の紙面づくりの参考にさせていただきますので、ぜひご協力ください。

問 1 「やまなしの福祉」の内容はいかがでしたか?

読みやすさ

①とても満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

色・文字の大きさ

①とても満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

記事の内容

①とても満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

全体満足度

①とても満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

問 2 興味を持った記事を3つ教えてください。

問 3 広報紙「やまなしの福祉」で取り上げてほしい内容や広報紙に関するご意見、ご感想をお聞かせください。

FAX・ハガキ・メールでご回答ください

宛 先 〒400-0005 甲府市北新1-2-12

山梨県福祉プラザ4階  
山梨県社会福祉協議会 総務企画課  
FAX 055-254-8614

なお、上記QRコードからも回答できます。

